

第1号議案

2011年度事業報告

I 2011年度重点課題

1. 「100年コミュニティ」構想に基づく、コミュニティの拠点づくりの展開

2011年度は、コミュニティ事業の開発・構築・普及を啓蒙する目的で開催している「100年コミュニティをつくる会」の活動を継続し関東を中心に展開いたしました。その取り組みは、※「ゆいま〜る」を基本とし、個人と個人の対等な関係を尊重しながらお互いを認め助け合い、自分らしさを大切に暮らしを紡いでゆける共生の「場」となります。※助け合いを意味する沖縄の言葉

2. 会員の拡大

元気のでる地域づくりを行っていくために会員拡大を行い、当協会の活動をより多くの方々に広めていくことが、社団法人コミュニティネットワーク協会にとりましては、現在の時世の流れにおいてより重要な役割となっています。今年度はよりいっそう個人会員、共に理念実現に向けて連携していく法人・団体会員の拡大をすることに重点をおき活動してきました。

3. 公益社団法人認定に向けた取り組み

公益社団法人の申請・認定に向けた取組を積極的に行い、関係資料（定款、規則の改訂、公益会計基準など）整備など必要な事項の改訂を行い、申請を提出する。

II 定款事業計画

1. 社会の変革に対応し、人間性豊かな、住民自治に基づくコミュニティづくりを具体的に探求するための調査・研究及び提言等を行う事業（定款第4条（1）事業）

1. 委員会活動

（1）コミュニティファンド委員会

東京郊外の町や団地の再生を主なテーマとする事業支援のファンドを4月より第5号ファンドとして募集を開始しました。

サービス付高齢者向け住宅の本格施行により入居金方式から月額方式に主力が移っていく時代となり既に入居されている方々の家賃財源をお預かりする方式も研究を始めました。

（2）高齢者住宅認定制度委員会

09年に制度設計を完了した「高齢者住宅認定制度」。不動産バブルの崩壊と取り沙汰された昨今の経済情勢の中で、高齢者住宅の経営不安が続出しています。認定制度が全てをカバーできるものではありませんが、事業者による情報の公開、自己評価、訪問調査、アンケート調査に加え、定期的な点検を組み込んだ新たな制度の開始により、入居相談者に提示できる情報を増やし、安

心への道を広げて行く構想を暖め蓄積しております。

(3) 完成期医療福祉委員会

「ゆいま～る・伊川谷」「ゆいま～る那須」において、神代尚芳先生、高木忠彦先生を中心に啓蒙活動を展開しています。自らが望む生活、納得できる場を追及し、そこに寄り添える場を求めてコミュニティの拠点づくりをし、完成期医療福祉の構築ができるように進めています。今期開設した「ゆいま～る多摩平の森」「ゆいま～る聖ヶ丘」も活動を始めています。

2. 調査・研究事業

北海道厚沢部町地域再生調査研究

昨年までの調査結果を活かし、当協会は厚沢部町役場と基本協定書を締結しており、首都圏などから移住希望者の高齢者を受け入れる高齢者住宅の創設に向けて動いています。

厚沢部町高齢者の生活の実態や高齢者住宅入居ニーズを探るために訪問調査を行った。また、函館市内の高専賃や小規模多機能居宅介護事業所等を調査し入居に関わる価格帯等を調査した。基本協定の趣旨を尊重した「厚沢部町地域ケアシステム構築検討協議会」が設置され、安全で安心して暮らせる『素敵なお疎のまち・厚沢部町』の実現に向けて協議が始まりました。2年間の調査活動を終え、移住交流の一貫としての高齢者住宅の創設に向け、地域ケアシステムの構築など具体的な活動をしてきました。

2. コミュニティづくりを推進するための事業を開発し、事業の運営組織のネットワークを構築し、コミュニティ事業を普及する（定款第4条（2）事業）

地域コミュニティづくりを支援します

1) 栃木・那須

那須プロジェクト

拓かれた自然の空気と安心感に抱かれる暮らし「那須100年コミュニティ」豊かな自然に環境に恵まれた広大な土地を利用し、健康と福祉をコンセプトにした多世代共生型の暮らしも第2シーズンを迎え、2期建物が完成し、いよいよコア施設内に供用棟、食堂棟もオープンをいたしました。2010年、第1期入居者の方々は、自発的に地元とのネットワークをつくりながら、事業のコンセプトなどをつくりあげるとりくみを進めてまいりました。

また、同時に安心システムとしての地域包括ケア、仕事、健康など多面的な事業を推進していく中で、ワーカーズが発足し配食サービス、物品販売の取り組みが始まりました。

【掲載記事】

110915「高齢者住宅新聞 集い、輪になって暮らす」記事

111222「週刊ポスト 手作り参加型施設」記事

「月刊シニアビジネスマーケット1203」記事

「日経ヘルスケア12'3月号」記事

120310「日経アーキテクチャ」記事

【セミナー】

- 110524 「設計士が語る暮らしやすい高齢者の住まい」
連続5回シリーズ「リタイア後 那須の里山で暮らすこと」を考える実践講座
第1回「豊かな森林に恵まれた那須に暮らす」110722
第2回「夏的那須平成の森を歩くツアー」10802
第3回「リタイア後、那須の里山で暮らすゆしさ・生きがい」110902
第4回「秋的那須ツアー」1110
第5回「コミュニティのある木の住まいで実りある人生を！」111109
111120 「歴史 那須の古代遺跡から～接圏の地にみる独自文化の形成～」
111214 「ゆいま～る那須での在宅ケア」

2) 東京・多摩地区

①多摩平プロジェクト

「歩いて暮らせる街に住む、人生の完成期まで自宅で暮らす、地域で暮らす」をコンセプトにした躯体を残し内部を改装した団地再生のプロジェクトがスタートし10月に開設いたしました。地域に開かれた食堂がオープンし、高齢者だけではなく多世代の交流を目指した地元とのネットワークづくりの取り組みが進んでいます。4年ぶりに復活した自治会主催で同じ並びに立つ団地の若者、家族など地域の方と一緒にイベントを開催いたしました。

【掲載記事】

- 「シニアビジネスマーケット」9月号 コメント記事
110930 「東京新聞」オープンハウス記事
「介護ビジョン 2011年12月号 今週の顔」記事
「週刊朝日 2012年1月27日号 多摩平 シェアという住まい方」記事

【セミナー】

- 110421 「認知症やひとり暮らしを支えるー在宅ケア「小規模多機能」」
110522 「ケアプランを自分でたててみよう！」
110629 「最後まで暮らせる高齢者住宅とは？」
110830 「笑い与健康～笑いの力を元気の力に繋げよう～」
120125 「あなたの望む高齢者住宅とは？ゆいま～る多摩平の森の事例から考える」

②聖ヶ丘プロジェクト

「完成期医療の理念のもとで暮らす、住み慣れた街で最期まで自分らしく、みんなで作る100年コミュニティ」のコンセプトに共感をいただいた、30余年にわたり多摩地区で地域医療を支えている医療法人と協力提携を得、点ではなく面展開での安心システムの構築事業を推進している「ゆいま～る聖ヶ丘」が12月に開設いたしました。また食堂運営のNPO法人との連携により地域の皆様に開かれた美味しい食と、安心の素材の販売で地元の団地の皆様とのコミュニティを育み、ネットワークづくりをしています。

【掲載記事】

111107「定年時代 1203 人生 100 年最後は自宅」フォーラム告知記事
多摩ニュータウンタイムズ1月1日号 聖ヶ丘オープン記事

【セミナー】

- 110525「ケアプランを自分でたててみよう！」
- 110831「介護福祉士が本音で語る 介護のある暮らし」
- 111203「特別フォーラム 人生 100 年、最後は自宅で～多摩の地域ケアの試み～」
- 120120「聖ヶ丘で始まる「最後まで自宅で」を支えるケアサポート」
- 120293「ランチコンサート」
- 120214「共催セミナー 1000 万円台と年金で豊かに暮らせる住まい選び」
- 120313「共催セミナー 知っておきたい相続・遺言・後見人制度」

3) 島根・吉賀町

吉賀町プロジェクト

H21 年度より展開している福祉専門学校の六日市学園を核とした人材育成事業に加えて、今年度も、行政・医療機関等と地元社会福祉協議会で取り組む「5+1 会議」を中心に、町のトータルケアシステムのありようの相互認識を深め、その構築を進めています。

生活安心サポート事業もスタートし3年目を迎えました。地域に役立つシステムづくりを目指して居住されている皆様のとこに伺い、いただいた貴重なご意見を参考に進めています。

3. 高齢者等がグループで共住する場、コミュニティの交流の場、コミュニティ事業の拠点等、新しい生活スタイルを実現するコミュニティの場づくりを支援する（定款第4条（3）事業）

高齢者の福祉と権利擁護の増進事業

1) 暮らしと住まいの情報センターの常設

情報の受発信や、相談を受けて問題解決する場として、高齢者住宅、ふるさと暮らし、地域再生を柱とした「暮らしと住まいの情報センター」を開設しています。銀座と梅田に常設する高齢者住宅情報センターではウェブや通信物等で情報発信するほか、常設の展示場での情報提供、専門の相談員による住みかえを主とした相談業務を行ってまいりました。また、高齢者住宅の解説や選び方セミナーを毎月定期開催、会員企業の見学会も月2～3回開催しています。住まい方についておしゃべりをする会を定期的に開催し、情報提供や意見交換を行うほか、利用者同士の交流の場としても活用しています。高齢者住宅の住み替えだけでなく、それに伴う後見人制度や身元引受人、相続の問題なども講師を招いて勉強会を継続的に開いてきました。関東、関西共に年1回「高齢者住宅入居フォーラム」を開催し、2、300名の高齢者に参加いただいて高齢者住宅の事業者紹介もいたしました。会員事業者には情報交換やテーマを持っての話し合い、新規開設ホームの見学などを隔月で開催し、親交を暖めてきました。

有識者を招いて年に数回、テーマに沿って大規模なセミナー企画も開催しました。また、高齢者住宅情報センターの活動は新聞や雑誌、情報誌などで頻繁に取り上げられ

ました。

【大阪セミナー・フォーラム】

- ・特別セミナーソニー生命 110406
- ・ミニセミナー 110414、0426、0513、0524、0601、0623、0715、0726、0803、0829、0914、0922、1003、1012、1115、1125、1212、1221
120118、0203、0315、0326
- ・神戸セミナー 110701、0729、0826、120328
- ・第10回高齢者住宅入居フォーラム 110519
- ・特別セミナー「1000万円台と年金で豊かに暮らせる住まい選び」110917
- ・おしゃべりカフェ 111208、120209
- ・共催セミナー 120212

【東京セミナー・フォーラム】

- ・「自分のことは自分で守る？」 110405
- ・第3回高齢者住宅入居フォーラム 110414
- ・第2回連続フォーラム「脳からみた人間の生き方・考え方」 110417
- ・「高齢者住宅の種類と費用」 110422、0721、1018、120124
- ・「東銀座カフェ」 110511、0712、0906、1108、120110、0119、0306
- ・「エンディングノートの書き方講座」 110520、0901
- ・「終のすみ家の選び方」 110526、0721、0819、120221
- ・「ワンパック相続」 110603
- ・「いまさら聞けない介護保険」 11022、0914、1220、120314
- ・「都内で1000万円台、最後まで暮らせる高齢者住宅」 110726
- ・「おひとりさま介護」 110803
- ・「知って納得、関西の高齢者住宅」 110805
- ・溝口セミナー「高齢期の住まい方を考える」 0810
- ・フォープロプスセミナー 0830
- ・「ケアプランを自分で立ててみませんか？」 0830
- ・第4回高齢者住宅入居フォーラム 111006
- ・「私と円高～お隣の資産運用～」 111020
- ・「高齢者住宅選びの五か条」 111025
- ・「高齢者住宅の選び方」 111115
- ・「終の棲家は自分で決める」 111202
- ・「いちから学ぶ高齢者住宅の仕組みと費用」 120228

2) 高齢者住宅等認定事業

高齢者住宅の入居者、将来の利用者に対し、安心して住まうことのできる住宅、責任をもって入居を薦めることのできる住宅のための高齢者住宅認定制度を策定しました。今期は大きく進めることができませんでしたが、次年度実施可能なかの検討を重ね、

人員不足もあり暫くこの事業は保留とすることになりました。

4. コミュニティ事業の指導者、組織者、協力者等の人材を研修、育成するとともに、そのネットワークを構築して協力関係づくりを推進する（定款第4条（4）事業）

1) 地域プロデューサーの自主的な活動をサポートします。

コミュニティづくりには、人・もの・金・空間をトータルでプロデュースできる人材が欠かせません。当協会の理念、事業がさらに広がるために、そのノウハウを活用できる新規開設のハウスでの地域プロデューサーの取組みを応援しています。

2) 他団体との連携を深めます

元気がでる地域づくりを支援するためには、地域住民と自治体、企業、NPOなどが連携・ネットワークを構築することが欠かせません。他団体との連携を積極的に進め、本事業の活用を進めました。

3) 島根県吉賀町六日市学園での人材育成モデルづくり

「医療・介護・福祉・人材育成及び居住福祉」の視点で連携を図る目的でスタートした人材育成モデル事業は、町・学校法人六日市学園・社会医療法人石州会・吉賀町社会福祉協議会・社団法人コミュニティネットワーク協会・株式会社コミュニティネットの6者が、互いに支えあうコミュニティの場づくりにむけて連携を深めています。

尚、全国各地でセミナーを開催し介護福祉士を目指す人材の確保を実施しました。

【媒体掲載】

2011/11/19 福島民友新聞社 「島根県吉賀町疎開説明会～ふくし留学のすすめ～」

2011/11/26 産経新聞「ふくし留学説明会」（関西）

2011/12/1 神戸新聞「ふくし留学説明会」（大阪）

2011/12/1 朝日新聞大阪本社「ふくし留学説明会」（関西）

2011/12/7 毎日新聞社東京「ふくし留学説明会」

2011/12/7 中国新聞「福島からの疎開説明会」

2011/12/10 山陰中央新報「福島からの疎開説明会」

2012/01/12 産経新聞「ふくし留学説明会」

2012/02/02 中国新聞「ふくし留学説明会」（広島）

2012/02/04 朝日新聞「ふくし留学説明会」（広島）

2012/02/05 読売新聞「ふくし留学説明会」（岩国）

2012/02/07 読売新聞「ふくし留学説明会」（浜田・益田）

2012/02/10 東京新聞「ふくし留学説明会」（東京）

2012/02/29 読売新聞「ふくし留学説明会」（東京）

2012/03/07 中国新聞「ふくし留学説明会」（広島）

5. コミュニティ事業及びコミュニティづくりを促進するための企画の実施及び啓発・広報・出版を行う（定款第4条（5）事業）

広報・編集委員会

1) 会報誌「ゆいま〜る」を発行しました。

「元気のでの地域づくりをサポートする」ため、当協会の理念、活動の啓蒙・啓発する媒体として、全国のコミュニティ活動の情報を紹介する媒体として、生活者の立場にたちながら発信をいたしますが、年1回の発行といたしました。

【ゆいま〜る VOL. 44】

P2「すべての日本人が冷静に深く考え、行動するとき」会長 神代尚芳

P4「有形から無形へ、信頼をつないで」 理事長 近山恵子

P7「理事からの一言」理事：中村正廣、岡田昭人、袖井孝子、辻利夫

P10「【特別企画】ゆいま〜る編集委員と近山理事長の「結」トーク」

P14「2010年度活動概要」

2) 通信を発行しました。

①高齢者住宅情報センターから隔月で情報を発信しました。

（東京：銀座通信、大阪：茶屋町通信）

②事業プロジェクトの理念や活動を広げるために「100年コミュニティ通信」を毎月発行しました。

3) ホームページを充実させました。

①CN協会、高齢者住宅情報センターのHPを定期的に更新しています。

セミナー・フォーラムのお知らせの更新を行い、参加者を募りました。

②リンク先を充実させました。運営組織のネットワーク事業者のHPとのリンクを張り、毎日のブログの情報の提供を行っております。

Ⅲ. 協会運営

1. 総会

*2011年6月18日（土）

2. 理事会

*2011年6月18日（土）

3. 常務理事会

*2011年1月22日（土）、2011年4月17日（土）

4. 会員加入促進活動

1) 会員加入状況		2011年12月末現在
法人：正会員	4	賛助会員 57
団体：正会員	1	賛助会員 4

個人：正会員	86	賛助会員	101	
合計 正会員	91	賛助会員	162	= 253

2) 情報提供の拡充

・フォーラムや各種セミナー・テレビ放映などの情報提供をいたしました。

【掲載記事及びテレビ放映】

- 20110719 「はいからエスト 震災時こそ、安心な高齢者住宅」 記事
 2011 年盛夏特別号「サンケイリビング神戸西 エンディングノートの書き方講座」 告知記事
 2011 夏号「クレールライフ」 記事
 20110816 「はいからエスト 目から鱗、ケアプランを自分でつくろう」 告知記事
 20110923 「週刊朝日 全国主要有料老人ホーム」 コメント記事
 20110929 「神戸新聞 高齢者住宅への住みかえのポイント」 記事
 2011 年冬じたく特別号
 「サンケイリビング高槻・茨木 北摂エリアの高齢者住宅の種類と選び方」 告知記事
 120116 「はいからエスト ゆうゆう倶楽部検討会」 告知記事
 120131 「東急不動産発行 クレールライフ Winter 号 成年後見制度」 記事
 120130 「週刊ポスト 特集「老人ホームと老後資金」」 記事
 120203 「読売新聞 サ付き住宅コメント」 記事
 120204 「関西読売テレビ ウェークアップ！ぷらざ」 放映
 120100 「オヤノコトマガジン7号 親の住まいレポート」 コメント記事
 120116 「プレジデント この先 30 年人生安心プラン」 コメント記事
 120220 「読売新聞 はいからエスト」 セミナー告知記事
 120319 「読売新聞 はいからエスト」 セミナー告知記事

【メルマガでの配信】

- 110603 「テレビ朝日 ガイアの夜明け放送日のお知らせ」
 110702 「連続フォーラム第2回のご案内」
 110701～0801 「100 コミ通信発行のご案内」
 120125 「多摩平の森 セミナー開催のお知らせ」
 120129 「日本テレビ 真相報道 バンキシャ放送日のお知らせ」
 120202 「100 コミ通信発行&ラジオ放送のお知らせ」
 120213 「放送延期 2/19 のお知らせ 日本テレビ 真相報道 バンキシャ」
 120307 「100 コミ通信 Vol. 19 発行のご案内」

以上